



残暑の中、園庭から聞こえる蝉しぐれが暑さを一層かきたてます。コロナ禍の夏休み、いかがお過ごしでしょうか。今しかない、お子様との思い出作りをと願っていましたが、帰省やお出掛けなど計画通りにいかなかったご家庭もおありのことと思います。夏季休業中の預かり保育は、おおむね30人前後の入室となり、これまでのところ安全に過ごしています。必要不可欠の利用、名簿への体温の記載など、ご協力ありがとうございます。最後まで気持ちを引き締めて進めたいと思います。

夏季保育2日目の昨日は、登園したお子さんの元気な挨拶を聞くことができました。8月生まれのお友達のお誕生会では、「コロナの時代を生きるー大きく前へならへ」のお話をしましたのでお伝えします。

大きく前へならへとは、腕や手をピンと伸ばした前へならへよりも、握りこぶし、グーチョキパーのグーの分だけ前の人との間を空ける前へならへのことです。

園長先生は、コロナの時代でも、できるだけ皆さんにこれまでと同じように行事を通して幼稚園の思い出を作って欲しいと願っています。それは、行事を通して皆さんが大きく成長する姿を数多く見て来ているからです。運動会年長組のリレーでこんなことがありました。何回練習してもいつも負けていたクラスは、どうしたら勝てるかみんなで考えました。すると、一人一人が速く走るのも大事だけれど、バトンを上手に渡すことができれば速くなるということに気がきました。そこで、園庭に大きな円を描きトラックに見立て、朝早く着いた人からその周りを走ってバトンを渡す練習をしました。同時に、どういう順番で走ったらよいか作戦も立てました。すると練習と作戦が成功して、負けていたクラスが本番では見事一位になりました。運動会のリレーを通して、みんなで力を合わせることの大切さを学んだようです。

コロナの時代に、これらの行事を成功させるために必要なこと、それは、マスク、手洗いはもちろんですが、コロナに罹らないように三密を避けて行うことではないでしょうか。特に、運動会の練習でも、本番でも普段の生活でも、密集を避けることがとても大切だと思います。その具体的な姿が、腕や手をピンと伸ばす「前へならへ」+こぶし一つ分を空ける「大きく前へならへ」をいつでも意識し、出来るようにすることだと思います。

今年の運動会は、いつもと違って開会式からかけっこや踊り、そして閉会式まで学年別に行います。残念ながら、見に来ていいのは、お家の方一人だけです。親子競技もおひさまや小学生の競技も出来ません。個人用のシートやテントも張らずにみんなでお弁当を食べることも出来ません。でも、皆さんが先生に言われなくても自分から密集を避けて行動し、力の限りを尽くす姿をお家の方に見ていただけたら、園長先生は大成功だと考えています。合言葉は「大きく前へならへ」です。

上述の通り、今年の運動会は「学年別うんどうかい」とします。詳しくは、9月中旬にお渡しする運動会案内に譲りますが、これまでのものとは大きく形が異なることのみご承知おきください。まだまだ暑さが続きそうです。コロナ禍も先が見えませんが、蝉に負けずに今できることを精一杯進めたいと思います。保護者の皆様のご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

9月11日(金)年長組が実施予定の浦和レッズハートフルサッカー教室は、雨天等でグラウンドが使えない場合、中止となりますのでご承知おきください。実施状況は、当日7:30に一斉メールでお知らせします。

